

ドアクローザ取扱説明書

御施主様用

お願い

- 1.取付をされる業者の皆さまへ
本書は必ず御施主様または御入居者様へお渡しください。
- 2.御施主様へ
当社製品をお買い上げいただきありがとうございました。
製品を正しくご使用いただくために、この「ドアクローザ取扱説明書」をよくお読みください。
いつでもお読みになれるように大切に保管してください。

1.ドアクローザの機能説明とお願い

- 1) この製品は、ドアを自動的に閉じるためのもので、油圧によりゆっくり閉じる構造になっています。
季節の温度変化等により、ドアの閉じる速度が変わることがあり、極端に速度が速くなると怪我をすることがあります。
ドアの閉じる速度は、調整弁によりコントロールすることができますので、裏面に記載した方法で調整してください。
- 2) 本体から油が漏れたり、部品が破損した場合は速やかに施工業者または弊社に修理、交換依頼をしてください。放置しておく、閉扉スピードのコントロールが効かなくなり事故につながるおそれがあります。
- 3) ドアクローザは分解、改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬ怪我をしたり、正しく組み立て直す事が出来なくなります。

2.お手入れ方法

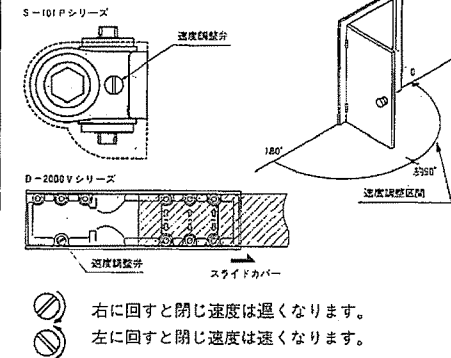
- 1) 本体及びアームなどの取付ネジにゆるみが生じていないか時々点検してください。ゆるんでいた場合はネジを締め直してください。
- 2) 腐食予防のために本体及びアームは時々掃除をしてください。また、結露が生じた場合は乾いた布で拭いてください。

3.異常を感じられた際の対処方法（調整が難しい場合は、施工業者または弊社に問い合わせをしてください。）

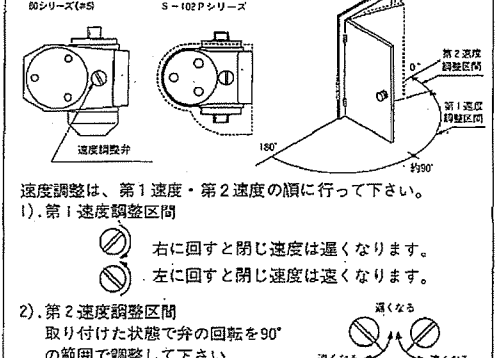
現象	考えられる原因	点検箇所	対処方法
ドアの閉じる速度が徐々に速く又は遅くなった	季節の温度変化など	速度調整弁	速度調整方法を参照願います
ドアの閉じる速度が急に速くなった	油漏れ	ドアクローザ本体	施工業者または弊社に修理依頼願います
ドアの閉じる速度が急に遅くなった	油の流れが詰まっている	速度調整弁	速度調整方法を参照願います
閉じる際「パタン」と大きな音がするようになった	ネジの緩み	取付ネジ	ネジを締め付けてください
	油漏れ	ドアクローザ本体	施工業者または弊社に修理依頼願います
	ラッチング機能が強すぎる	ラッチング調整弁	ラッチング調整弁の調整方法を参照願います
ドアが所定の開放位置で止まらなくなった(ストップ付)	ストップネジの緩み	ストップ装置	ストップ角度調整方法を参照願います
ドアがスムーズに閉まらなくなったり異音が生ずるようになった	ネジの緩み	取付ネジ	ネジを締め付けてください
	1・2速のバランスが悪い	速度調整弁	速度調整方法を参照願います

ドア閉じ速度（スピード）調整方法（調整は、ドアクローザの速度調整弁で行います。）

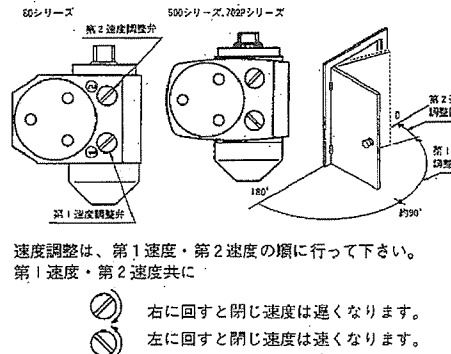
①1バルブタイプ（A）



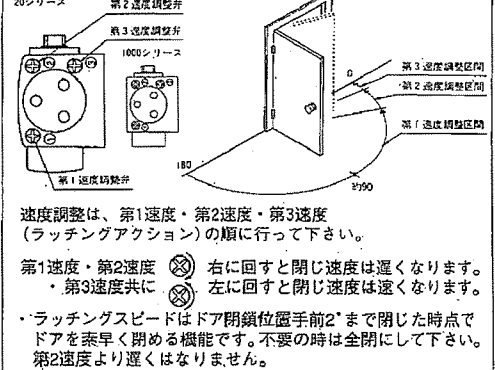
②1バルブタイプ（B）



③2バルブタイプ



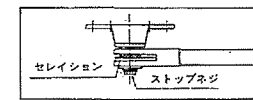
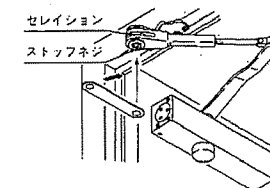
④3バルブタイプ



ストップ装置の調整

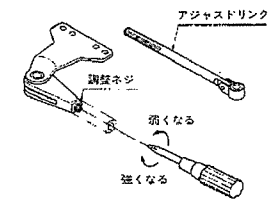
ストップ角度の調整

- ドアをストップさせる角度まで開き、ストップネジをスパナできつく締め付けます。締め付ける時は、ストップ装置のセレイション部のかみ合いを確認してください。かみ合いの悪い場合は、ドアを少しゆすりながら、ストップネジを締め付けてください。次にドアを開めて、もう一度ストップネジを締め付けてください。ストップ装置の締め付け力が不足していると、ストップ装置の故障の原因となります。



ストップ保持力の調整

- あらかじめストップの強さは、調整済みです。調整が必要な場合は、ストップ装置にねじ込まれているアジャストリンクを外し、調整ネジをドライバーで回します。右に回すとストップ力は強くなります。左に回すとストップ力は弱くなります。※調整ネジは左右1回転以上回さないでください。故障の原因になります。



*1 BLDドアクローザ（BL-I型・BL-II型）は、BL部品認定基準の構造として、『特殊な工具以外では閉じ速度を調整できない構造とする』として住宅管理の専門家以外には操作できないようにしてあります。又、機能性に『常温時無風状態において、ドアを90°迄開き、ラッチング完了後5～8秒であること。』を規定してあります。これより速く閉じる場合は危険ですので、管理事務所・施工業者又は、弊社に修正依頼をして下さい。

798201226

リョービ株式会社

札幌 062-0937 札幌市豊平区平岸7条14-3-48 ☎(011)811-8232 名古屋 468-0034 名古屋市中区久方1-145-1 ☎(052)807-1643
 仙台 983-0034 仙台市宮城野区馬町4-2-38 ☎(022)237-6201 大阪 569-1135 大阪府高槻市今城町24-12 ☎(0726)85-1113
 東京 114-8518 東京都北区豊島5-2-8 ☎(03)3927-5533 広島 736-0082 広島市安芸区船越南3-7-29 ☎(082)823-0028
 富山 939-8214 富山市黒崎2-3-2 ☎(0764)93-2225 福岡 811-2305 福岡市外粕屋町柳須107-1 ☎(092)623-5000

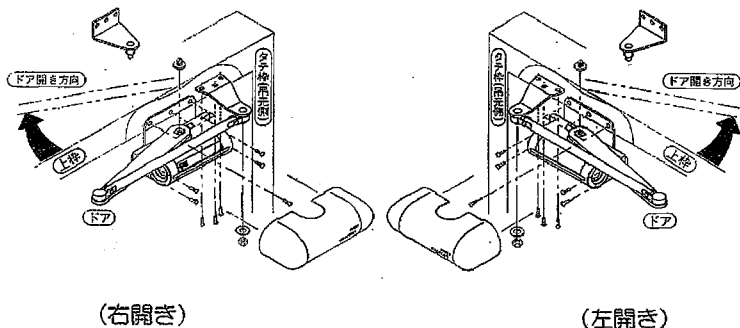
RYOBI doorman 型式S-101P/S-101PH 取付説明書

このたびは「ジョービドアマン」をお買いあげいただきましてありがとうございます。ジョービドアマンを正しくお使いいただくために、本取付説明書を十分にお読みになり、お取付けくださるようお願い申し上げます。

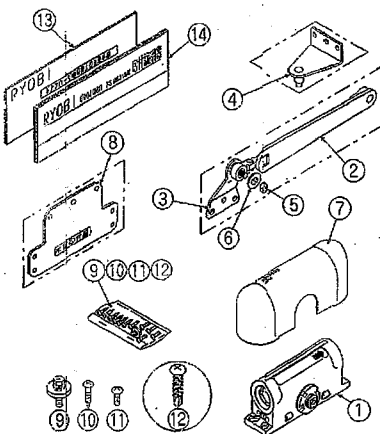
取付け作業に入る前に

- 必ず取付説明書を①から順にお読みになり、取付けを行ってください。
- 本製品はドア開き方向の左右開きは共用です。(①②を参照ください。)
- 本製品はストップ付きです。(ストップなしにはできません。)
- ドアマンを取付けた後は、ドアを開くとき重く感じられます。(軽くすることはできません。)
- 本体の軸(④)の図を参照ください。は、ドアに取付ける前に回転させないでください。

①全体組立図



②部品名称



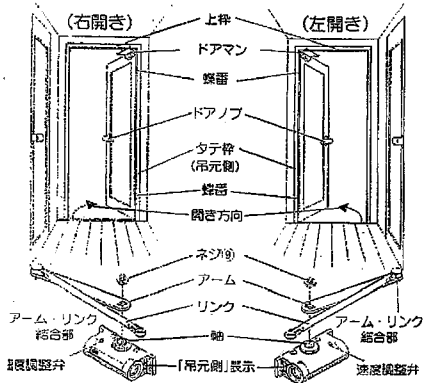
No.	部品名称	数量
①	本体	1
②	アーム・リンク(連結部)	1
③	U型ブラケット	1
④	型ブラケット(型式S-101Pには梱包されていません)	1
⑤	ブラケット・リンク結合用ナット	1
⑥	ブラケット・リンク結合用ワッシャー	1
⑦	カバー	1
⑧	取付板	1
⑨	本体・アーム結合用ネジ	1
⑩	取付板・ブラケット取付用ネジ	6
⑪	本体・取付板取付用ネジ	4
⑫	下穴加工ネジ	1
⑬	取扱説明書	1
⑭	取付説明書及び型紙	1

③取付けに必要な工具



④ドアの開き方向の確認

扉を開き斜めに立てて確認してください。

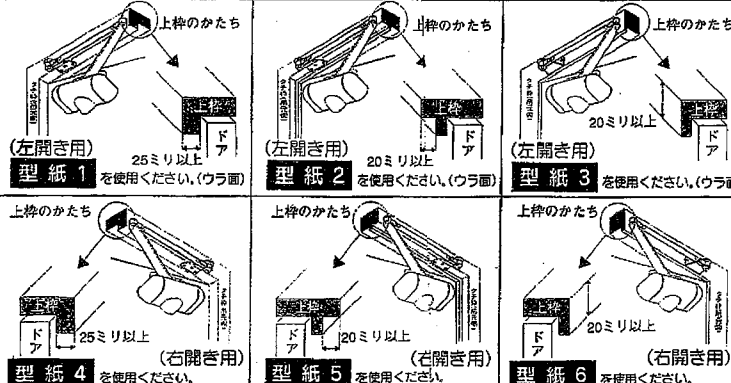


⑤取付型紙の選択と使用方法

- はじめにドアの開き方向(④参照)をお確かめの上、下枠の上段(左開き用)または下段(右開き用)を決めてください。次にドアの上枠のかたちをお確かめの上、各図の3つの図の中からあてはまるものを1つお選びください。図に記された型紙1～型紙6を使用します。

注意 型紙3・型紙5の場合L型ブラケットを使用します。必要な場合はお買い求めの販売店にお申し出ください。

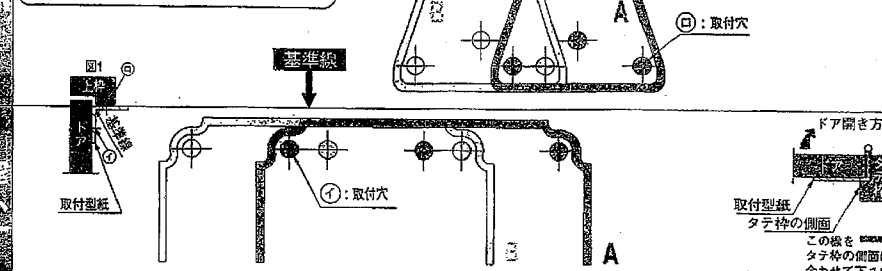
- 選んだ図紙1～型紙6の1つを右図とそのウラ面にある取付型紙の中央キリトリ線にしたがって切り取ってください。ウラ面につく。



取付型紙(右開き用)

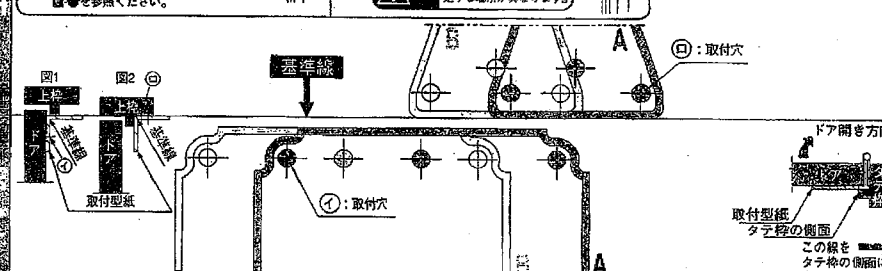
取付位置決め順序

- 基準線を直角に谷折りにし、ドア側をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板とブラケットの取付穴位置①②を決めてください。下図1参照
Aの選択は取付説明書⑧⑨を参照ください。



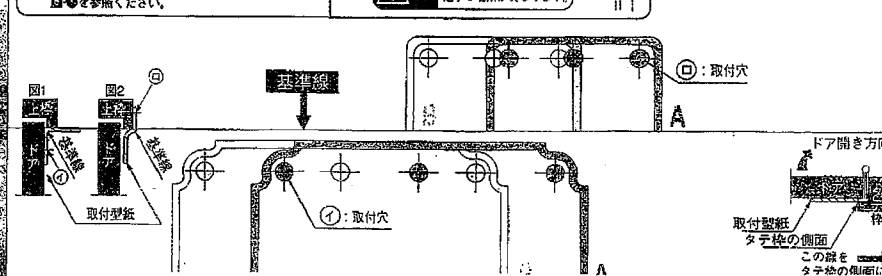
取付位置決め順序

- 基準線を直角に谷折りにし、ドア側をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板の取付穴位置①を決めてください。下図1参照
Aの選択は取付説明書⑧⑨を参照ください。
- 基準線を直角に谷折りにし、上枠側を上枠下面に合わせ、ブラケットの取付穴位置②を決めてください。下図2参照
注意 1,2では取付位置を固定する場所が異なります。

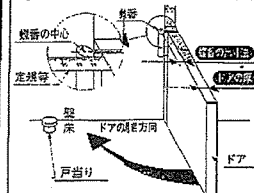


取付位置決め順序

- 基準線を直角に谷折りにし、ドア側をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板の取付穴位置①を決めてください。下図1参照
Aの選択は取付説明書⑧⑨を参照ください。
- 基準線を直角に山折りにし、上枠側を上枠下面に合わせ、ブラケットの取付穴位置②を決めてください。下図2参照
注意 1,2では取付位置を固定する場所が異なります。



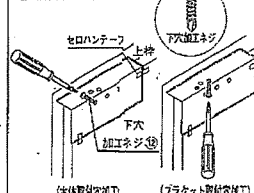
①取付型紙の取付位置 A の決定



取付型紙には A と B の2種類の位置が記されています。以下に使い分け方を決定してください。

- ・ドアを開く方向に戸当りがあり約90°までしか開かない場合次の2つの寸法を測ってください。
- ・**ドアの厚さ**
- ・**取付位置**：取付位置から取付位置までの距離(図参照)
- ・2つの合計が52ミリ以下の場合は、A の位置を使用してください。
- ・上記以外の場合は、B の位置を使用すると、ストップ装置が作動しません。
- ・上記以外の場合(2つの合計が52ミリ以上または90°以上開く場合)、A の位置を使用してください。

②取付穴の加工



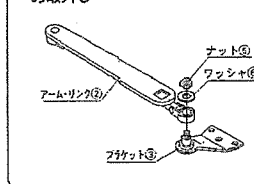
(2)で切り取った取付型紙の説明(取付位置決め)に従って、取付型紙をセロハンテープで固定し、本体取付穴、ブラケット取付穴の加工を行います。

決定した取付穴に加工ネジ⑩を取付型紙の上から最後までねじ込んでください。ねじ込んだ後、下穴加工ネジ⑪を外し、他の穴にも同様にねじ込んでください。

穴加工後は取付型紙を外してください。

下穴加工ネジのねじ込み時にドリルを使用する場合は、9.8ミリを切ってください。

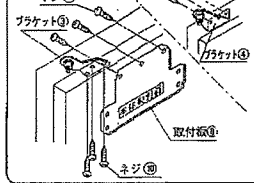
③アーム・リンク②とブラケット③の取外し



ナット④とワッシャー⑤を外し、アーム・リンク②からブラケット③を外します。

注意 ナットとワッシャーは後で使いますので、紛失しないようにご注意ください。

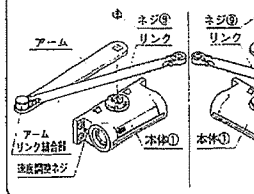
④ブラケット③④と取付板⑥の取付け



ブラケット③④と取付板⑥を取付けます。取付板はウラとオモテを確認してください。取付後は「本体取付穴」の文字が読めます。

注意 ドアの厚さ28ミリ以下の場合は、ドアの厚さに合わせた短い取付木ネジを別途準備してください。

⑤本体①とアームの組立



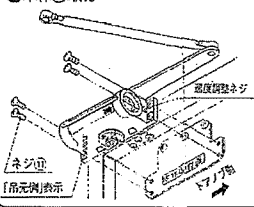
本体の穴にアームをはめるはめ合わせ後、本体・アーム結合ネジ⑧を取付け、8ミリ/分程度緩まないようにねじ込んでください。

注意 左右両方で組立が異なります。アーム・リンク結合ネジと速度調整ネジを同じ方向へ向けてください。アームは本体の穴に奥まで完全に入りません。ネジを締めつけることで固定されます。

ドアマンについてのQ&A

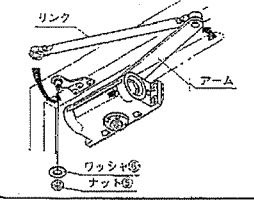
症状	原因	対策
ドアマンを取付けた後...		
ドアが急にパタンと閉まる。	・速度調整ネジが開いている。 ・本体から油が漏れている。	・⑥の速度調整方法に沿って速度調整ネジを右(時計の方向)にまわし調整してください。 ・最寄りの販売店、弊社営業所に連絡ください。
本体から音がする。	・本体とアーム結合用ネジが緩んでいる。	・再度ネジを締めてください。締めつけ後も音が直らない場合はアームの交換が必要です。(本体内部より多少音がする場合がありますが、故障ではありません。)
ドアが閉まらない。	・速度調整ネジが開いている。 ・取付方法に誤りがある。 ・ドアが枠、床等に接触している。	・⑥の閉り速度調整方法に沿って速度調整ネジを左(時計と反対の方向)にまわし調整してください。 ・取付順序①～⑦をご参照の上、再度確認してください。 ・最寄りの工務店、建具店にご相談してください。

⑥本体①取付



ドアを開けて取付板に本体①を取付けます。本体の速度調整ネジをドアノブ側へ向けてください。

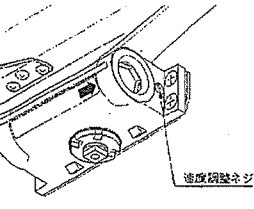
⑦ブラケット③④とリンク②の結合



ドアを開いた状態でアームを手前に引きながらリンク・ブラケットに差込み、ブラケット・リンク結合用ワッシャー⑤とナット④で固定します。

注意 必ずドアを開いた状態で行ってください。アームを手前に引くにはかなりの力が必要ですが、アームを手前に引かないと調整できません。手前に強く引いても大丈夫なように、本体とアームの固定が確認されていることが前提となります。本体を取り外し、他の作業を再度確認してください。

⑧閉り速度の調整

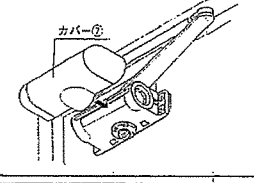


工場出荷の標準正スピードにセットしてありますが、左の速度調整ネジを、次のように操作すると速度の調整ができます。

右(時計の方向)にまわすと閉り速度は遅くなります。
左(時計と反対の方向)にまわすと閉り速度は速くなります。

注意 速度調整ネジは2回以上左(時計と反対の方向)には絶対にまわさないでください。まわすすぎると油が漏れます。四季の温度変化によりドアマンの閉り速度は変化することがあります。

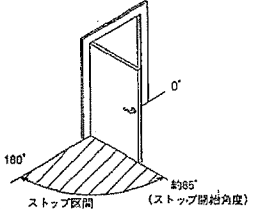
⑨カバー⑦のはめ込み



カバー⑦をはめ込みます。

以上で取付けは終了です。

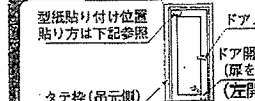
⑩ストップ機能について



・ドアを約85°(※)あけるとストップ装置が働き、任意の角度(85°～180°)でドアの開放維持ができます。
※ストップ開始角度約85°は標準の出寸法(図③参照)により異なります。

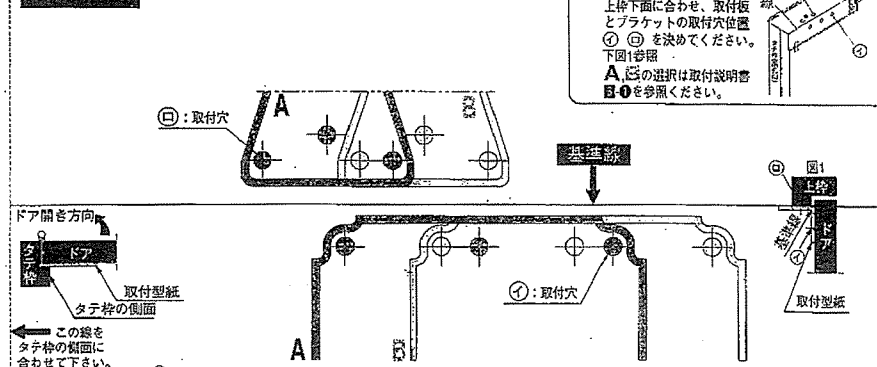
・ドアを開ける場合は、約85°位置まで戻せば後は、自動的に開きます。

注意 ストップの開始角度は変更できません。

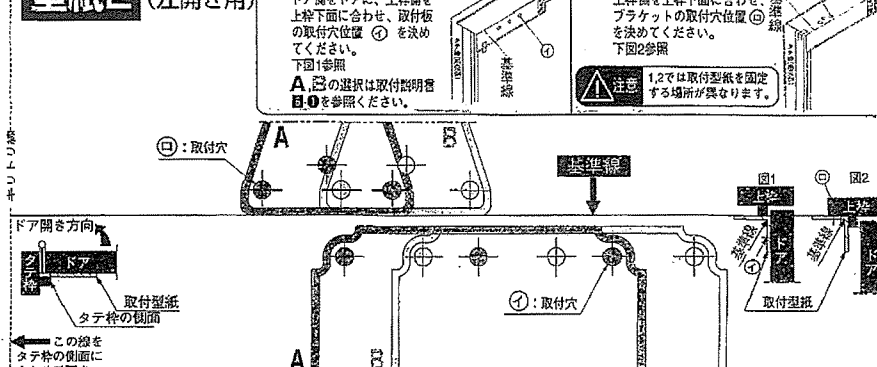


取付型紙(左開き用)

型紙1 (左開き用)



型紙2 (左開き用)



型紙3 (左開き用)

